

評価項目		指標(供給)	出典	指標(需要)	出典	
供給サービス	P1 農産物	P1-1-1 水稲の生産量	作物統計調査	P1-1-2 米の国内消費仕向量	食料需給表	
		P1-2-1 水稲の生産額	生産農業所得統計			
		P1-3-1 小麦・大豆の生産量	作物統計調査	P1-3-2 小麦・大豆の国内消費仕向量	食料需給表	
		P1-4-1 麦類・豆類の生産額	生産農業所得統計			
		P1-5-1 野菜・果実の生産量	作物統計調査	P1-5-2 野菜・果実の国内消費仕向量	食料需給表	
		P1-6-1 野菜・果実の生産額	生産農業所得統計			
		P1-7 農作物の多様性	作物統計に基づきPielouのJ指数を用いて評価			
		P1-8-1 畜産の生産量	畜産物流通調査、牛乳乳製品統計調査	P1-8-2 畜産の国内消費仕向量	食料需給表	
		P1-9-1 畜産の生産額	生産農業所得統計			
	P2 特用林産物	P2-1-1 松茸・竹の子の生産量	特用林産物生産統計調査	P2-1-2 松茸・竹の子の需要量	特用林産物生産統計調査	
		P2-2-1 椎茸原木の生産量	木材需給表	P2-2-2 椎茸原木の国内消費量	木材需給表	
		P3-1-1 海面漁業の生産量	漁業・養殖業生産統計年報	P3-1-2 魚介類の国内消費仕向量	食料需給表	
	P3 水産物	P3-2-1 海面漁業の生産額	漁業生産額統計			
		P3-3-1 海面養殖の生産量	漁業・養殖業生産統計年報	P3-3-2 魚介類の国内消費仕向量(再掲)	食料需給表	
		P3-4-1 海面養殖の生産額	漁業生産額統計			
		P3-5 漁業種の多様性	漁業・養殖業生産統計年報に基づきPielouのJ指数を用いて評価			
		P3-6-1 内水面漁業の生産量	漁業・養殖業生産統計年報	P3-6-2 魚介類の国内消費仕向量(再掲)	食料需給表	
		P3-7-1 内水面漁業の生産額	漁業生産額統計			
		P3-8-1 内水面養殖の生産量	漁業・養殖業生産統計年報	P3-8-2 魚介類の国内消費仕向量(再掲)	食料需給表	
		P3-9-1 内水面養殖の生産額	漁業生産額統計			
		P4 淡水			P4-1 取水量	平成26年版日本の水資源(国土交通省、2014)、日本統計年鑑 平成27年
	P5 木材	P5-1-1 木材の生産量	木材統計調査	P5-1-2 木材の入荷量	木材統計調査	
		P5-2-1 木材の生産額	生産林業所得統計			
		P5-3 生産樹種の多様性	木材統計調査に基づきPielouのJ指数を用いて評価			
		P5-4 森林蓄積	森林資源の現況(林野庁)			
		P5-5-1 薪の生産量	特用林産物生産統計調査	P5-5-2 薪の国内消費量	木材需給表	
		P5-6-1 木質粒状燃料の生産量	特用林産物生産統計調査			
P6 原材料	P6-1-1 竹材の生産量	特用林産物生産統計調査	P6-1-2 竹材の総需要量	特用林産物生産統計調査		
	P6-2-1 木炭の生産量	特用林産物生産統計調査	P6-2-2 木炭の国内消費量	木材需給表		
	P6-3-1 菌の生産量	菌生産統計調査	P6-3-2 菌の需要量	シルクレポート		
調整サービス	R1 気候の調節	R1-1-1 森林の炭素吸収量	「気候変動に関する国際連合枠組条約」に基づく第2回日本国年報報告書	R1-1-2 温室効果ガスの吸収量目標値	地球温暖化対策計画	
		R1-2 森林の炭素吸収の経済価値	上記①-森林吸収係数J-VERの2013年の平均価格を乗じて推定	R1-1-2-2 温室効果ガスの吸収量目標値の経済価値	上記をJ-VER平均価格に乗じて推定	
		R1-5 蒸発散量	国土数値情報の土地利用細分メッシュに基づきハモン式を用いて推定			
		R2 大気の調節	R2-1 NO _x 吸収量	環境数値データベース・MODISデータに基づき環境再生保全気候が示す推定式より評価		
			R2-2 NO _x 吸収の経済価値	上記を小川(2000)が示す1tあたりの代替価値で換算		
	R2-3 SO ₂ 吸収量		環境数値データベース・MODISデータに基づき環境再生保全気候が示す推定式より評価			
	R3 水の調節	R2-4 SO ₂ 吸収の経済価値	上記を小川(2000)が示す1tあたりの代替価値で換算			
		R3-1 地下水涵養量	気象庁データ・高木ら(2001)による土地利用毎の浸透面積率・国土数値情報等に基づき、国土交通省(2001)が示す簡便式により評価			
	R4 土壌の調節	R4-1 土壌流出防止量	一般土壌流出式(USLE)により評価			
		R4-2 窒素維持量	土壌情報閲覧システムにおける作土の理化学性データベースより土壌分類ごとに可給態窒素、可給態リン酸のデータを取得し、国土交通省の土地分類調査の土壌図へ当てはめた上で「土壌流出防止量」で得られた値			
		R4-3 リン酸維持量	同上			
	R5 災害の緩和	R5-1 洪水調整量	洪水到達時間、ピーク流出係数、流域面積を用いて合形式により算出			
		R5-2 表層崩壊からの安全率の上昇度	阿部(1997、p170)が示している根による土のせん断抵抗力補強強度に基づき安全率の増加分を算出			
	R5-3 海岸の防災に資する保安林の面積	林野庁業務資料				
	R6 生物学的コントロール	R6-1 花粉媒介種への依存度	Aizen et al.(2009)やLautenbach et al.(2012)の手法を参考に、農業生産における花粉媒介種への依存率を推定			
	文化的サービス	C1 宗教・祭	C1-1-1 地域の神様の報告数	生物多様性の道プロジェクト—生態系サービスモニタリング	C1-1-2 地域の神様などの付き合いについての報告数	生物多様性の道プロジェクト—生態系サービスモニタリング
			C1-2 地域の行事や祭りの報告数	生物多様性の道プロジェクト—生態系サービスモニタリング		
			C1-3 シキミ・サカキの生産量	特用林産物生産統計調査		
C2 教育		C2-1-1 子供の遊び場の報告数	生物多様性の道プロジェクト—生態系サービスモニタリング	C2-1-2 自然の中での子どもの遊びと仕事	生物多様性の道プロジェクト—生態系サービスモニタリング	
		C2-2 環境教育NGO数	環境NGO総覧及び環境NGO・NPO総覧オンラインデータベースをまとめた環境統計集の環境NGOの中から、環境教育に携わる団体の数を抽出			
C3 景観		C2-3 図鑑の発行部数	出版指標			
		C3-1 景観の多様性	国土数値情報に基づき1kmメッシュ毎の土地利用(生態系)の多様性をPielouのJ指数を用いて計算			
		C4 伝統芸能・伝統工芸	C4-1 伝統工芸品の生産額	伝統的工芸品産業をめぐる現状と今後の振興施策について		
C4-2 伝統工芸品従業者数			同上			
C4-3 生漆の生産量			特用林産物生産統計調査	C4-3-2 生漆の消費量	特用林産物生産統計調査	
C4-4 酒類製成量			酒のしおり	C4-4-2 酒類販売量	酒のしおり	
C4-5 酒蔵・濁酒製成場・地ビール製成場の数			酒のしおり			
C5 観光・レクリエーション		C4-6 食文化の地域的多様性	山下(1992)の手法に基づき、都道府県毎に各食品の一世帯あたり購入数量を2014年の家計調査より取得し、食品毎に変動係数(標準偏差/平均)			
		C5-2-1 国立公園数	自然公園等利用者数調	C5-1 レジャー活動参加者数	レジャー白書	
I 国外依存					C5-2-2 国立公園利用者数	自然公園等利用者数調
その他の関連指標群	D ディサービス	D-1-1 野生鳥獣による農作物被害額	鳥獣被害対策の現状と課題	I-1 エコロジカル・フットプリント	「Global Footprint Network, 2015: National Footprint Accounts, 2015 Edition(日本)」及び国際貿易分析プロジェクト第9版(Global Trade Analysis Project: GTAP9)のデータに基づき、多地域間産業連関モデルを作成、2011年の我が国のエコロジカル・フットプリントの輸出入量を算	
		D-2-1 各野生鳥獣による農作物被害額	野生鳥獣による農作物被害状況の推移			
		D-3 クマ類による人的被害	(分布域の拡大) 第6回自然環境保全基礎調査 ツキノワグマ及びヒグマの分布域縮小の現状把握と軋軌抑止及び危機個体群回復のための支援事業 報告書 (負傷者数の経年変化) クマ類出沒対応マニュアル H27年度におけるクマ類による人身被害について[速報値] (負傷者数の地域的傾向) H27年度におけるクマ類による人身被害について[速報値] 人身事故情報のとりまとめに関する報告書 (経済的価値) 負傷被害額から費用便益分析マニュアル<連続立体交差事業編>に基づき算出			
		D-4 ハチによる人的被害	(死亡者数) 人口動態調査における死亡原因より抽出 (被害額) 交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査報告書に基づき算			